

古道を訪ねて ②⑦

巡礼道 (勝尾寺〜中山寺) ⑨

前号で紹介した畑の道標から、西へ約600m進むと、巡礼道は府道池田箕面線と合流し、古道の面影をなくしてしまいます。

合流点からさらに300mほど進むと、左手にこんもりと盛り上がった丘が見えます。現在は「横岡公園」という公園になっているこの丘は、永禄11(1586)年10月2日、織田信長が池田城を攻撃したときに、陣を置いた場所とも伝えられています。実際に丘の頂上に上がると、西にある池田城を見下ろすことができ、陣を置くには絶好の場所であったことが分かります。丘の頂上に小さな祠があり、その前の手水鉢に「是より中山へ五十八丁」の文字が刻まれています。巡礼道沿いにあるものが移転され、中山寺まで58丁



祠▶



▼手水鉢



(約6・3km)であることを教えてください。

街道に戻りしばらくは西に向かいますが、五月丘小学校を通り過ぎて、2つ目の交差点の所で進路を南に変えて左に曲がり、坂を下るようにして池田の中心地へ向かって行きます。「逸翁美術館」と病院の間を抜けて進んで行くと「池田文庫」の前に出ます。池田文庫の敷地内には、大小2基の道標が移転されています。小さい方の道標の正面には「右大坂道京 左みのお道」、左面には「右中山寺」、右面には「左妙見多田道」の文字が刻まれています。巡礼道は池田文庫の南側で能勢街道と合流しますが、この道標はその付近にあったものと考えられます。正面に「妙見山道」の文字が刻まれている大きな道標は、明治7(1932)



年に能勢街道沿いの豊中市三国付近に建てられたもので、阪急宝塚線を敷設したときに移設されました。



▲大きい方の道標



▲小さい方の道標